

# やはば

議会だよ

町議会 新たな構成決まる 2

帰厚堂に1億4100万円貸付 6

被災地への復興支援 一般質問5議員 7

まちの人 12

177  
2011.7.14




触っても大丈夫かな? (徳田保育園)


# 町議会 新たな

平成23年第3回臨時会が5月6日に開かれ、新しい議長に藤原義一議員、副議長には長谷川和夫議員を


3月11日の東日本大震災において沿岸各地では未曾有の被害が発生しました。自然の猛威をあらためて思い知らされましたが、被災者の皆さんには心よりお見舞い申し上げますと共に一日も早い復興を望みます。本町においては大きな被害はなかったものの今回の教訓を生かし、防災計画の再点検が必要と思います。この度の選挙において7人の新人の方が当選され、大幅な入れ代わりの中で各常任委員会や一部事務組合議員などの構成メンバーも決まり、新たな一歩を踏み出しました。本町は今、駅前開発や医大周辺の土地利用の見直しなど大きく変わろうとしています。議員各位が信条と思いを積極的に発言し、議会の活性化につながるよう図ってまいります。




**山崎道夫** 議員  
安心して暮らせる災害に強いまちづくりを目指し、みどり豊かな田園と都市が共存する環境の整備に努め、次代を担う子ども達の教育環境の充実と高齢者福祉に力を注いでいきたい。




**村松信一** 議員  
大きな事業がスタートし、更に都市化が進む中、環境保全向上に努め、自然と調和のとれたまちの発展を目指す。農・商・工業連携に依る第6次産業化を推進し活力に満ちた我がまちをつくりたい。



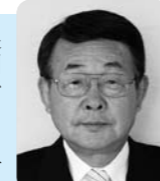
**藤原由巳** 議員  
駅前開発、医大附属病院の移転事業等が進むなか、豊かな農地、緑を活かしつつ農、商、工業の発展に取り組む。また、誰もが安心して暮らせる福祉の充実した、災害に強い町づくりを努める。




**昆秀一** 議員  
官民の意識格差をなくし、町民誰もが議会・町政に興味を持ってもらえるようわかりやすい環境をつくっていく。特に弱者に優しく、誰もが住みよいと思える町づくりを目指す。




**芦生健勝** 議員  
基幹産業である農業を核とした商業、工業の産業振興と高齢者が安心して住める町、安心して子供を生み育てられる町を目指し、青少年の健全育成と芸術、文化、スポーツの振興に努めます。



**廣田光男** 議員  
人にやさしく思いやりがあり、ゆいゆいの精神に根ざした夢と希望が展開できる活力にあふれた町としたい。町民目線の政策提言のための住民説明会開催で、対話のある町づくりをしていきたい。



**高橋七郎** 議員  
将来を担う子ども達の育成を促進し、核家族や共働き家庭の子育てを支えると共に、健康福祉が充実した町づくりに努め、全ての町民が生きがいのある暮らしができ、自然豊かで住み良い町にしたい。



**米倉清志** 議員  
子どもの健全育成、英語学習の充実に努めます。福祉の向上、高齢者や町民の健康を守り、各種検診の受診率の向上に力を注ぎます。都市部と農工商業が発展できる町づくりを推進します。



**川村よし子** 議員  
町民、特に高齢者・障がい者・子どもへの生存権を重視し、いちどくらしを守ることを最優先に取り組み、日本国憲法が活かされる町政を目指し、町民との対話から町民の声を町政に届けてまいります。


# 構成決まる

議会構成を決定しました。選出し、新たな矢巾町議会がスタートしました。


この度の臨時議会において、議長という大役を仰せつかりました。もとよりその器ではありませんが、誠心誠意努めてまいります。よろしくお願いいたします。



**藤原義一** 議長  
積極的な発言で議会の活性化を




**齊藤正範** 議員  
矢巾町が更に発展し、住んで良かったと実感できる町づくりを目指して、町民の方々が持っている様々な資源と技能を議会に反映させ、住民と議会や役場が一体となった町の総合力を高めていきたい。




**長谷川和男** 副議長  
この度の大震災による多くの教訓を生かし、安全で安心して暮らせる地域環境を整え、将来に夢と希望の持てる町づくりを住民の目線に立ち行政財政運営が執行されるよう議会の重責を果たしてまいります。


**こんな町をつくりたい**  
各議員の抱負




**谷上哲** 議員  
子どもから高齢者まで声をかけ合い元気のふるコミュニティ活動への支援。産業（農業・商工業等）を振興し地域経済を活性化。だれもが参加し、話し合い協働する、ひらかれた町政をめざします。




**小川文子** 議員  
震災復興支援と放射能対策を進めながら今一度町づくりを見直し、何よりも町民の生命が大切にされ、暮らしが成り立つように温かい、思いやりに満ちた矢巾町をつくりたい。




**川村農夫** 議員  
町のインフラを活用した若者の雇用の創出が第一！そして、地域の暮らし・創意を支援して、権限と責任をもつコミュニティが社会の基礎です。その充実と活性化こそ、自力ある町づくりです。



**藤原梅昭** 議員  
「笑顔がいちばん、元気が一番、矢巾がイチバン」の思いを胸に、「農・商・工・観光」の産業振興を基本とした「安全・安心」で誰もが夢と希望を持てるまちづくりに、「誠心誠意」尽くします。



**村松輝夫** 議員  
盛岡広域の中核都市（副都心）として発展、岩手の医療が集積した町に。次代を担う青少年の健全育成と高齢者福祉の充実した町を目指したい。



**秋篠忠夫** 議員  
「もつと住民の声を聞く」住民の代弁者、納税者の代表として、皆様のお話しを聞き、マンネリ化を改善し、特に、高齢者、弱者の方々を考慮して、その声を、町政に反映させる。



# 各委員会の構成

各委員会の構成をお知らせします。

## 議会運営委員会

議長の諮問に応じ、議会の会期日程や議会運営などに関する事項についての調整を行います。

- 委員長 高橋七郎
- 副委員長 廣田光男
- 委員 川村農夫
- // 芦生健勝
- // 村松輝夫
- // 米倉清志
- // 長谷川和男

## 総務常任委員会

町の行財政に関し、他の委員会に属さない事務の調査及び議案、請願、陳情等の審査を行います。

- 委員長 米倉清志
- 副委員長 山崎道夫
- 委員 川村農夫
- // 谷上哲
- // 川村よし子
- // 藤原義一

- 委員長 山崎道夫
- 副委員長 小川文子
- 委員 齊藤正範
- // 昆秀一
- // 藤原梅昭

## 議会だより特別委員会

議会広報発行のための委員会で、定例会ごとに年4回、議会だよりを編集して発行します。

- 委員長 芦生健勝
- 副委員長 廣田光男
- 委員 齊藤正範
- // 村松信一
- // 藤原梅昭
- // 長谷川和男

## 産業建設常任委員会

農林・商工・道路河川等に関する事務の調査及び議案、請願、陳情等の審査を行います。

## 一部事務組合議会議員名簿

関係市町村で事務を共同処理する組合議会の議員です。

一部事務組合名	議員名
紫波、稗貫衛生処理組合	齊藤正範 昆秀一
盛岡・紫波地区環境施設組合	藤原由巳 村松信一
盛岡地区広域消防組合	高橋七郎
盛岡市・矢巾町都市計画事業等組合	山崎道夫 谷上哲 藤原梅昭

## 教育民生常任委員会

教育・福祉分野に関する事務の調査及び議案、請願、陳情等の審査を行います。

- 委員長 村松輝夫
- 副委員長 藤原由巳
- 委員 小川文子
- // 秋篠忠夫
- // 昆秀一
- // 高橋七郎

# 補正予算

## 帰厚堂に1億4100万円貸付

6月定例会は14日から17日までの4日間の会期で開催しました。

報告事項4議案、発議案2議案、人事案件1議案、協議案件3議案、条例改正3議案、町道認定及び廃止2議案、契約案件2議案、一般会計補正予算など18議案を審議し、すべて可決しました。

一般会計補正予算は、矢幅駅西地区に医療福祉複合ビルを建設する医療法人社団帰厚堂(南昌病院等を経営)に対する貸付金1億4100万円など、2億5019万円余を追加し、総額106億9308万円余となりました。

一般質問は5人が登壇し、震災対策など14項目について考えをたえました。主な内容は次のとおりです。

### 議員発議

#### 調査特別委員会を設置

「矢幅駅前地区土地地区画整理事業調査特別委員会」と「矢巾中学校建設調査特別委員会」を設置し、この二つの事業について今後議会で進捗状況などを調査してまいります。

### 人事案件

#### 監査委員を選任

立花純幸さん(再)  
(煙山行政区)  
立花純幸さんが、平成23年6月20日をもって再任されました。また、5月の臨時会において、秋篠忠夫議員を監査委員に選任しました。

2億5019万円  
追加の大型補正

### 一般会計 補正予算

▽主な歳入  
▽公共土木施設災害復旧費  
国庫負担金  
1134万円

### 主な歳出

- ▽財政調整基金繰入金  
6284万円
- ▽地域総合整備資金貸付事業債(借入金)  
1億4100万円
- ▽地域づくり事業(矢幅駅西地区に建設される医療福祉複合ビル建設への貸付金)  
1億4100万円
- ▽コミュニティ組織育成事業(自治公民館用発電機40台)  
965万円
- ▽公共土木施設災害復旧事業(震災に伴う町道修繕)  
2111万円



医療福祉複合ビル完成予定図

# 被災地への復興支援

## 輝きと誇りを取り戻すまで



復興が急がれる被災地(大槌町)

やまぎき 山崎 道夫 議員

**質問** 3月11日の東日本大震災により、沿岸部を中心に大変な被害が出た。2度にわたり宮古市、大槌町、釜石市を見て回ったが、壊滅的被害状況で県民が一丸となって長期

支援が必要と痛感させられた。被災した住民が普通の生活に戻るまでに5年から10年を要すると思うが、継続した支援について次の点を伺う。  
①構想と実行は。  
②町民への呼びかけは。

### 答弁

①基本理念として、「被災地の方々一人ひとりが人間として輝きと誇りを取り戻すまで、内陸部の市町村として支援していきたい。」

第一は、被災者の受け入れ体制の確立であり、被災者が独立できるまで、極め細やかな対応をする。

第二は、被災地の応援要請による職員の人的派遣で、長期にわたり継続的に人的支援等続ける考えである。

②町民の方々の直接応援活動は今後ボランティア活動及び義援金が主なものと考えており、町の広報誌やホームページなどでも広く呼びかける。

### 水道管の耐震化は

5年間で3ポイント向上

**質問** 阪神大震災では火災により被害が拡大した原因の一つは断水で、全面復旧に3ヶ月もかかったが、本町では今回の大震災においても断水することなく給水が行われた。今後さらに災害に強い町づくりのため、水道管の耐震化が必要と考えるが、経年化率と耐震化率、更新計画について明らかにされたい。

**答弁** 平成23年3月末現在の経年化率は、0・4%で平成20年度の全国平均5・0%より少ない状況である。

耐震化率は4・6%であり同規模の事業体並みの水準である。管路更新と耐震化は必要不可欠のものと考えている。更新計画は平成25年度に計画策定を行う予定であり、今後5年間で3ポイント向上の推進に努めていきたい。



かわむら 川村 よし子 議員

# 自治公民館に発電機を

## 40台分の購入予算計上



緊急時に活躍する発電機

**質問** 災害時に町民の安心・安全を確保する上で自治公民館は重要な役割を担うと思われることから、次の点を伺う。  
①各自治公民館への避難状況。  
②各自治公民館に自家発電機を設置すべきでは。

**答弁** ①数箇所の自治公民館が自主的に開放し、ガスでの炊飯、発電機を利用したテレビによる情報提供等が行われた。  
②今回の震災で自治公民館に発電機の配備の必要性を認識し、予備も含め40台分の予算を計上した。

### 安全な保育園 施設の整備

#### 六次総後期計画で

**質問** 保育園は安心・安全な建物でなければならぬが、町内の公立・民営保育園の震災における被害状況は。また煙山保育園は昭和50年建設で老朽化しており、早急な耐震補強が必要と思うがどうか。

**答弁** 煙山保育園は、ホール暖房設備の破損や南側外壁の崩落等があり、私立保育園については4保育園で外壁の亀

裂やガラスの破損等軽微な被害があった。  
煙山保育園は第六次総後期計画で改修を予定している。今回被害を受けた危険箇所は全て修理を行い施設の安全を確保している。

### 通学路の整備

#### 段階的整備を予定

**質問** ①通学路整備等の要望と整備割合は。  
②藤沢地区畑中線の車の時間規制を早期にできないか。

**答弁** ①要望は8件であり、信号機の設置や歩道・カーブミラー・横断歩道等の新設である。うち4件については整備済み、残りについても順次整備していきたい。  
②交通安全施設点検において現地踏査、協議等を行い、必要に応じ警察署、公安委員会へ要望していきたい。

# 防災計画の見直しは

## 全自治会に自主防災組織を



高齢者世帯に普及が望まれる救急医療情報キット

**質問** 大震災を受けて、本町の防災計画における震度による対応と見直し、地域防災体制づくり、避難者への対応、救急医療情報キットの配布、公共施設の耐震対策を伺う。

**答弁** 防災計画は被災地及び被災者支援の在り方等も含めて更に見直しを進めていく。本町では震度5以上で災害対策本部を設置し、初動体制を確立するために緊急初動特別

班を組織している。

自主防災組織は12自治会で結成されているが、全自治会での結成を目指して取り組む。救急医療情報キットは高齢者世帯に普及を図っていく。家屋については耐震診断、補修に町独自の助成制度創設を検討していく。

耐震補強を終えた学校を除く公共施設については、耐震診断と補強を検討していく。

### 被災者の 雇用対策

#### 臨時職員の 雇用を進める

**質問** 震災の影響を受けている企業の相談や支援、被災者の本町の企業への雇用、本町での出店の支援、町の臨時雇用対策を伺う。

**答弁** 震災後に企業の被害状況と事業への影響を調査したところ、影響が徐々に表れており、国の中小企業への支援制度を利用できるよう支援している。被災者の本町への雇用は情報提供とともに企業に配慮をお願いしている。出店については商工会等と連携して必要な情報を提供していく。町としては、国の「日本はひとつ」しごとプロジェクトを活用し臨時職員の雇用の準備をすすめるとともに、緊急雇用創出事業費補助金を活用し、7月から被災者1名を雇用予定である。

よねくら 米倉 清志 議員



小川 文子 議員

# 放射能測定器の備えは

## 購入の方向で検討



岩手県環境保健研究センター屋上のモニタリングポスト(左)とデータ解析装置(右)



**質問** 町民の不安を解消するため、町として今後放射能測定器を備える考えはないか。また、専門家を入れた対策委員会を設置する考えはないか。

**答弁** 簡易的に計測する放射能測定器を購入する方向で検討したい。対策委員会については設置する段階に至っていないと考えている。

### 矢巾中学校の耐震対策は

#### 当面の使用には耐え得る

**質問** 今回の大地震で矢巾中学校の教室や体育館に被害があった。次の点を問う。  
①矢巾中学校の現在の耐震の評価と今後の取り組みは。  
②校舎に鉄製の筋交いを取り付けた場合の費用と効果は。  
③校舎移転までの間、ほかの施設を使う考えはないか。

**答弁**  
①校舎の耐震強度は瞬時に破壊される状況にない使用に耐え得ると評価している。避難訓練を通じ速やかに避難でき

るよう指導していく。  
②筋交いの取り付け費用は9千万円ほど。効果は構造耐震指標であるIS値が、一番低い箇所0・41から0・7程度まで上がる。  
③今回同様の地震が発生しても使用可能であり、他施設を使う考えはない。

### 発電機で給水ポンプ動くか

#### 対応は想定せず

**質問** 町営三堤住宅など高架水槽を備えた建物は停電により給水がストップしたが、自家発電機で給水ポンプを動かすことは可能か。また、燃料の備蓄についてはどうなっているのか。

**答弁** 発電機で給水ポンプを動かすことは想定していない。また、備蓄については町としてではなく各事業所と災害協定を結び対応している。

# 「さわやか号」の見直しを

## 利便性を図り継続運行



利用者の少ない「さわやか号」

**質問** 「さわやか号」の平成21年度までの実績は、1便あたり平均乗車数6人程度であり、町民の足としての役割を担っているとは思われない。①今後どのような改善策を考えているのか。  
②「さわやか号」の代わりとして乗合タクシー等他のものと利用しやすい移動手段に変

### 更なる考えはないか。

**答弁**  
①今年2月のアンケート調査では継続運行を望む声が多くあったので、利用者の利便性を図りながら継続運行を行っていく。  
②乗合タクシー等への切り換えについては、定員や民間のタクシー事業者との競合などを考慮し、現行の「さわやか号」の運行形態が最も適しているものと思われるので継続していく。

### NPPOに積極的の活動支援を

#### 更なる支援策を検討

**質問** 「矢巾町健康長寿のまちづくりプラン」においてNPPOの設立運営を積極的に支援するところがあるが、どのような支援をしているのか。

**答弁** 今後地域に根ざした活動主体のNPPO法人がますます

す求められてくるとらえており、今年度策定する第五期高齢者福祉計画・介護保険計画において、NPPO法人等に対する更なる支援策について検討を進める。

### 移動支援事業のPR状況は

#### 周知徹底し現行運用

**質問** 町地域生活支援事業の中の移動支援事業は、利用者にも事業者にも分かりづらく利用しづらい事業に思われるが、町民や事業者への周知・利用増加のPRや説明などはどのように行っているのか。

**答弁** 該当する方へは申請書の送付や民生児童委員を通じて説明している。事業者へは委託契約更新時を含め、必要に応じて説明を行っている。

### その他の質問

◇大地震による原発の放射能漏れ事故について



# ふるさと親善大使に任命された ふるさと矢巾会会長 **村松 充**さん (白沢行政区出身)



川村町長に義援金を渡す筆者(右)

## ふるさとを想いつつ

このたび、はからずも矢巾町ふるさと親善大使に任ぜられ光栄に存じております。全国各地を訪問する機会もあり、微力ながら生を受けた、ふるさと矢巾のためにお役に立てればと思います。

郷土の歌人石川啄木は「ふるさとへの山に向ひて言ふことなし、ふるさとへの山はありがたきかな」と詠みました。限りない望郷の思いが感じられます。私も思いは同じです。ましてや、3月11日発生の東日本大震災では被災地や被災者の気持ちを斟酌(しんしゃく)すると心が痛みます。一日も早い復旧復興を祈るのみです。全国の市町村、都道府県、国が一丸

ふるさとを想いつつ、ふるさと親善大使に任ぜられ、ふるさとを訪問する機会もあり、微力ながら生を受けた、ふるさと矢巾のためにお役に立てればと思います。ふるさと矢巾会でも義援金の協力を呼びかけましたところ、3週間で141人の会員から100万円の募金が集まりました。ささやかですが我がふるさと矢巾会員の真心として、被災地のために速やかにお役立てくださいと、役場に向き川村町長にお渡しいたしました。

矢巾町は県内において、堅実で素晴らしい発展を続けていると評価されており、出身者としては誇りであり支えでもあります。ますますの繁栄を期待しております。

## あ と が き

大震災から約4ヶ月、沿岸は復興に向け、一步一步力強く歩み始めているが、これからも長期にわたって支援して行かなければ、と決意を新たにしている。

4月の改選により議会だより編集委員会のメンバーも一新され、記念すべき第一号の編集・発行となった。

議会と町民のパイプ役として、読みやすく分かりやすい紙面づくりを常に心がけ、町民の皆さんに親しまれる議会



改選されたメンバーによる編集会議の様子

- 発行・編集責任者 議長 藤原 義一
- 編集委員 委員長 山崎 道夫
- 副委員長 小川 文子
- 委員 齊藤 正範
- 委員 昆 秀一
- 委員 藤原 梅昭
- 編集委員長 山崎 道夫